

令和4年度災害復旧支援エンジニア活動報告（飯豊町）

- 令和4年8月3日～4日の豪雨により県内、特に置賜地方では、多くの場所で被災しました。

8月22日、飯豊町より建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職OBによる災害支援に関する協定」を発動し2名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

【飯豊町】

- 派遣要請 ・ 8月22日（月）に飯豊町より災害復旧に関する技術支援の要請
- 派遣の実施 ・ 8月24日（水）に災害復旧支援エンジニアを派遣し支援活動
 - ◆ 活動被災箇所
 1. 町道新沼線 新沼橋 左岸橋台沈下
 2. 町道小山線 法面崩落
 3. 町道舟越線 法面崩落
 - ◆ 活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）

8月22日・「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性の考慮、当日の活動可能なエンジニアとして、古山毅彦氏、鈴木崇氏へ派遣を依頼
 - ◆ 活動状況②（役場で被災状況の聞き取り確認及び助言）

8月24日・飯豊町会議室にて、被災状況を町職員より説明を受け、査定時の考え方等を助言
 - ◆ 活動状況③（被災現地での助言・指導）

24日・現地で被災状況を確認し、復旧範囲の考え方・災害査定までの進め方等を助言・指導
 - ◆ 活動状況④（役場で被災箇所について再確認、助言・指導）

24日・飯豊町会議室にて、各被災箇所の申請時の考え方、復旧工法、必要となる関係機関との調整等について、助言・指導

- ☆ 町道新沼線外2路線
- ・ 各被災箇所で、復旧工法の留意点を助言
 - ・ 申請工種等の考え方を助言

